

いぬの病気

そこが知りたい!



肥満症

どんな
病気?

肥満が原因の病気にかかっている、あるいは、いずれ肥満による病気を発症するリスクが高いとされている状態。

日本の犬の約55%が肥満犬という調査報告もあり、「肥満症」は身近な現代病のひとつになっています。

肥満が原因となる病気は?

高脂血症や脂肪肝、糖尿病、心臓病などの生活習慣病、関節や椎間板といった部位の炎症などがあります。人と同じように犬にとっても、肥満は万病のもとなのです。

太っている犬の特徴は?



肋骨や背骨に
触れるのが難しく、
場所がわからなくな
る

腰のくびれが
なくなってくる

腹部や首回りに
ぜい肉がつき
樽のような体型に
なってくる

メスは
オスに比べて
太りやすい!

避妊手術や加齢によってホルモンバランスが変わり、それが太るきっかけになることも。オスに比べて1.3倍太りやすいという調査結果もあるそうです。

肥満予防のためにできる

3つのこと

1 乳酸菌を プラスして与える

肥満犬の腸内には、善玉菌が少ないという傾向があります。乳酸菌を取り入れて善玉菌を増やし、腸内環境のバランスをとることが肥満予防に効果があると考えられています。

2 食事は体重に合わせて 適量に

体格と体重などから、その犬の現状に合った食事量を知ることが大切です。わからない場合は、かかりつけ医に相談すると安心でしょう。目分量ではなく、きちんと計量して与えすぎを防いで。

3 散歩や運動で 体を動かす

体をよく動かしていると腸内細菌の種類が増えるというメリットも。腸内細菌の種類が多いほど免疫力が強いと考えられているため、散歩や運動はおすすめ。



こちらの連載は「いぬのきもち」に掲載中!



アニコム損保ご契約者がマイページ
から定期購読を申込みと

2号無料!!

(2ヶ月分)